

二宮町公共下水道の整備による水質改善効果

【概要】 汚水管きよの整備を行った結果、供用区域内を流れる二級河川葛川の水質の向上が見られ、事業の効果を確認することができます。

【事業による効果】

当町の公共下水道は平成11年4月から供用を開始しています。
この供用区域内を流れる二級河川葛川で水質調査を行い、平成11年と令和6年の数値を比較しました。
その結果、葛川ではBOD 12.0→1.7mg/ℓ、SS 10.0→2.5mg/ℓと 水質の向上が見られ、下水道整備による効果を確認することができました。

- ※ BOD（生物化学的酸素要求量）・・・水の汚濁度を示すもので、水中の有機物が微生物の働きによって分解される時に消費される酸素の量で、河川の有機汚濁を測る代表的な指標です。数値が大きいほど汚濁が進んでいます。
- SS（浮遊物質）・・・水中に浮遊している約2mm以下の物質で有機性と無機性のものがあり、有機性のものは川底に堆積して腐敗し、河川の浄化作用を低下させ魚介類に影響を及ぼします。

【葛川：下浜橋】 平成13年4月より流域の污水处理を開始

